

関西なまずの会  
真の減災に向けて  
専門家に求められること

関西学院大学・災害復興制度研究所  
室崎 益輝

# はじめに

## 減災とは？ 防災との違い

- ▶ 哲学的定義・・・大きな自然に対する小さな人間
- ▶ 戦略的定義・・・対策の足し算による被害の引き算

## 減災に求められることとは？ 災害に学ぶ

- ▶ 減災の精神・・・一人ひとりの生命を大切に
- ▶ 減災の行動・・・リアリティの戦略的追求を

# 減災の6要件

減災に関わる専門家(行政やメディアを含む)  
に求められる要件

- ▶ 現場性・・・現場を大切に
- ▶ 科学性・・・科学を失わず
- ▶ 共感性・・・共感を原点に
- ▶ 補完性・・・補完を忘れず
- ▶ 戦略性・・・戦略を厳密に
- ▶ 総合性・・・総合を規範に

# 現場性

- ▶ 発見的方法・・・真実は現場にある、現場をあるがままに見る、現場からニーズを引き出す
- ▶ 還元的的方法・・・現場に還元する、現場で検証する、現場に即して考える
  - ・・・中越と神戸あるいは四川と神戸との違いをしっかりと踏まえて、教訓を発信あるいは受信しないと、大きな間違いを犯す

# 科学性

- ▶ 適正な記録による・・・データを正しく採取しているか、データを正しく理解しているか、データの信憑性を確かめているか
- ▶ 適正な推論による・・・データの処理を誤っていないか、都合のよいデータだけを取り上げていないか
  - ・・・被害想定やニーズ把握などにおいて、非科学的な方法や態度が横行している

# 共感性

- ▶ 被災者に寄り添う・・・被災者の苦しみを理解する、被災者の立場にたって考える
- ▶ 違いを乗り越える・・・立場の違いや被害の違いを乗り越える、違いを認め合って連携する
  - ・・・危機管理のあり方や応急対応のあり方などは、往々にして行政の立場で考えられている。罹災証明は本来的に被災者の立場にたって実施されるべきものであるが、……

# 補完性

- ▶ 公助や行政の責任を確認・・・自助、互助、共助、公助の構造的な理解、最後のひとりまでの思想の理論化
- ▶ 自律性や持続性との連関・・・環境の論理や共生の論理を踏まえての社会システム設計
  - ・・・現物支給と現金支給との関わり、耐震補強と再建支援の関わりを正しく理解して、システム設計をはかる必要がある

# 戦略性

- ▶ 運動論的戦略性・・・被災者の意欲や自律を引き出す、教育やまちづくりを優先する
- ▶ 効率論的戦略性・・・必要性と可能性をふまえた戦略、火災対策を重視する取り組み
  - ・・・予算獲得戦争の悪しき弊害を乗り越えること、羅列的防災施策体系からの脱却をはかる
  - ・・・地域防災教育を柱にした減災戦略の展開をはかる

# 総合性

- ▶ 災害の多様性に即して・・・多角的視点や学際的視点で理解を深める、集団主義による被災構造の解析
- ▶ 減災の合算性に即して・・・対策体系の総合化、組織体制の総合化、減災サイクルの総合化
  - ・・・有限な資源で最高の効果を上げるための総合システムを如何に構築するか、災害関連法規の総合化を如何に実現するか